

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	栢生学園	評価対象年度	平成22年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人川崎市社会福祉事業団 ・代表者名 松本 紘 ・住所 川崎市中原区3丁目245番地	評価者	障害計画課長
指定期間	平成18年4月1日～平成23年3月31日	所管課	健康福祉局障害保健福祉部 障害計画課

2. 事業実績

利用実績	生活介護・施設入所（定員60名） 契約者数 59名（平成23年3月31日現在） 短期入所（定員 4名） 延利用者数 937名 日中一時（1日 5名） 延利用者数 26名																																								
収支実績	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th colspan="2">収入</th> <th colspan="2">支出</th> <th>収支差額</th> </tr> <tr> <td>就労支援事業活動</td> <td>542,791円</td> <td>福祉事業活動</td> <td>504,235,939円</td> <td rowspan="10">6,853,367円</td> </tr> <tr> <td>受託加工事業</td> <td>542,791円</td> <td>人件費</td> <td>317,727,927円</td> </tr> <tr> <td>福祉事業活動</td> <td>515,249,365円</td> <td>事務費</td> <td>77,004,309円</td> </tr> <tr> <td>自立支援費等</td> <td>274,842,687円</td> <td>事業費</td> <td>61,254,384円</td> </tr> <tr> <td>利用料</td> <td>16,200円</td> <td>経理区分間繰入金</td> <td>48,249,319円</td> </tr> <tr> <td>経常経費補助金</td> <td>239,476,799円</td> <td>施設整備等</td> <td>4,702,850円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>913,679円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>515,792,156円</td> <td>合計</td> <td>508,938,789円</td> </tr> </table>	収入		支出		収支差額	就労支援事業活動	542,791円	福祉事業活動	504,235,939円	6,853,367円	受託加工事業	542,791円	人件費	317,727,927円	福祉事業活動	515,249,365円	事務費	77,004,309円	自立支援費等	274,842,687円	事業費	61,254,384円	利用料	16,200円	経理区分間繰入金	48,249,319円	経常経費補助金	239,476,799円	施設整備等	4,702,850円	その他	913,679円			合計	515,792,156円	合計	508,938,789円	※指定管理料 231,570,000円	
収入		支出		収支差額																																					
就労支援事業活動	542,791円	福祉事業活動	504,235,939円	6,853,367円																																					
受託加工事業	542,791円	人件費	317,727,927円																																						
福祉事業活動	515,249,365円	事務費	77,004,309円																																						
自立支援費等	274,842,687円	事業費	61,254,384円																																						
利用料	16,200円	経理区分間繰入金	48,249,319円																																						
経常経費補助金	239,476,799円	施設整備等	4,702,850円																																						
その他	913,679円																																								
合計	515,792,156円	合計	508,938,789円																																						
サービス向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> 「信頼され、選ばれる福祉サービスの提供」を基本方針に掲げ、施設の実環境整備や職員の技術向上を図ることにより、利用者へ提供する支援の質を高めている。 第三者評価を受審し、支援内容の検証と支援体制づくりに役立っている。 																																								

3. 評価（評価段階:5～1,標準:3,加点割合:5→100%,4→80%,3→60%,2→40%,1→0%）

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	利用者への支援	利用者に対する支援を着実に実施しているか	10	3	6
		利用者の障害特性に応じた個別支援等を実施しているか			
	事業成果	基本協定に規定する業務の範囲を適切に実施しているか	10	3	6
		指定管理施設としての事業目的を達成することができたか			
(評価の理由) ・利用者の重度化、高齢化が進む中で、個々の健康状況に配慮しながら、プログラムを考え支援を行っている。 ・権利擁護委員会を設置し、アンケートを実施して、結果を分析するなどにより、職員の意識も高まって、利用者への良質な支援に繋がっている。 ・知的障害者グループホームのバックアップ施設として、2名の利用者の地域移行を行っている。					
収支状況	支出状況	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	3	3
		支出に見合う効果等が図られているか			
	収入状況	計画通りの収入が得られているか	5	4	4
		条例に基づく利用料等を適切に徴収しているか			
適切な会計手続	会計基準に基づく会計処理がなされているか	5	4	4	
	事業収支に関して適正な会計処理が為されているか				
(評価の理由) ・自立支援費等の安定した収入を得ており、経営状態は良好である。 ・予算に沿った支出がなされており、執行状況及び財産状況について、適正に処理されている。					
サービス体制	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	3	6
		利用者への支援を適時かつ十分に行っているか			
	サービス向上への取組み	現状分析、課題把握等を常に行っているか	5	3	3
		サービス向上に向けた取組みがなされているか			
	利用者の意見・要望への対応	意見・要望の収集方法を確立しているか	5	3	3
		利用者からの要望や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか			
(評価の理由) ・第三者評価を受審し、支援内容の検証と課題改善に努めており、第三者評価の結果でも良好な評価を得ている。 ・苦情相談については、マニュアル等を整備され、苦情対応と対策を詳細に記録し、その後運営委員会で検証されている。					

組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員が必要な場所に適切に配置されているか	5	4	4
	連絡・連携体制	所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修等が行われているか	5	3	3
	安全・安心への取組	事故、犯罪、災害等から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	2	2
		緊急時の連絡体制を構築しているか			
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	5	3	3	
(評価の理由) <ul style="list-style-type: none"> 適正な職員配置と研修などにより職員の質を確保し、4ユニットで構成される居住寮については、同性介護によって支援を行っている。 明らかに施設職員の管理ミスとされる投薬等の事故報告があり、薬の管理体制等については、大きな問題がある。 施設の事業や利用者の情報交換等を行う福祉事務所懇談会を開催し、川崎市各区との連携に努めている。 					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか	5	3	3
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	5	3	3
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	5	3	3
(評価の理由) <ul style="list-style-type: none"> 情報の共有化や個人情報の保護等のため、パソコン及び周辺機器の整備により、ネットワークの構築を行っている。 各種保守、点検等について、適切に行われている。 					

4. 総合評価

評価点合計	62	評価ランク	C
-------	----	-------	---

評価点合計:100点満点,標準点:60点

評価ランク:A~E,標準::C,A→90点以上,B→80点以上90点未満,C→60点以上80点未満,D→40点以上60点未満,E→40点未満
A→特に優れている,B→優れている,C→適正である,D→改善が必要である,E→問題があり適切な措置を講じる必要がある。

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

- 職員一人ひとりが目標を設定する目標管理制度を導入し、職員の「やる気」を利用者のサービス向上に繋げる仕組みを取っている。
- 利用者の権利擁護について、委員会を開催し、チェックシートの作成や行動規範(指針)の策定などの取り組みが行われている。
- 投薬等の管理体制について、同様の事故が繰り返されており、組織として再発防止に取り組む必要がある。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

- 利用者の重度化や高齢化が進む中で、投薬の量も増え、それに伴って管理や確認などの職員負担も増加している。薬の管理体制については、早急に改善が必要であり、職員の意識向上等も含めた体制強化に向けた取り組みを進めること。
- 利用者及び家族からのニーズを創意工夫により把握して、サービスの改善に繋げること。